

WebSphere Application Server V4.0

Interim Fix 適用ガイド

2006 年 8 月
日本アイ・ビー・エム株式会社
ソフトウェア事業

目次

1. はじめに	3
2. Interim Fix のダウンロード	4
3. Interim Fix のインストール	5
4. インストール後の確認	7
5. Interim Fix のアンインストール	8
6. アンインストール後の確認	9

1. はじめに

この手順書では、WebSphere Application Server（以下WAS）V4.0 に、Interim Fixを適用するための手順を紹介합니다。ここでは便宜上、Interim Fix PK24173を適用する手順を例にご紹介します。

本文中で使用されている<WAS_ROOT>とは、WASのインストール・ディレクトリーのことであり、各プラットフォームのデフォルトは、以下のディレクトリーとなります。

[AIX 環境]	: /usr/WebSphere/AppServer
[Linux/Solaris/HP-UX 環境]	: /opt/WebSphere/AppServer
[Windows 環境]	: C:¥WebSphere¥AppServer

本ガイドは、製品の修正パッケージの導入を手順書化したものです。
各コマンドやツールの詳細な情報については、適用するFixのreadmeや、infocenterを合わせてご参照ください。

また、本文中のURLおよびWebサイトの画面イメージは、2006年8月現在のものであり、将来変更される場合がありますのでご注意ください。

2. Interim Fix のダウンロード

必要な Interim Fix を Web サイトよりダウンロードします。

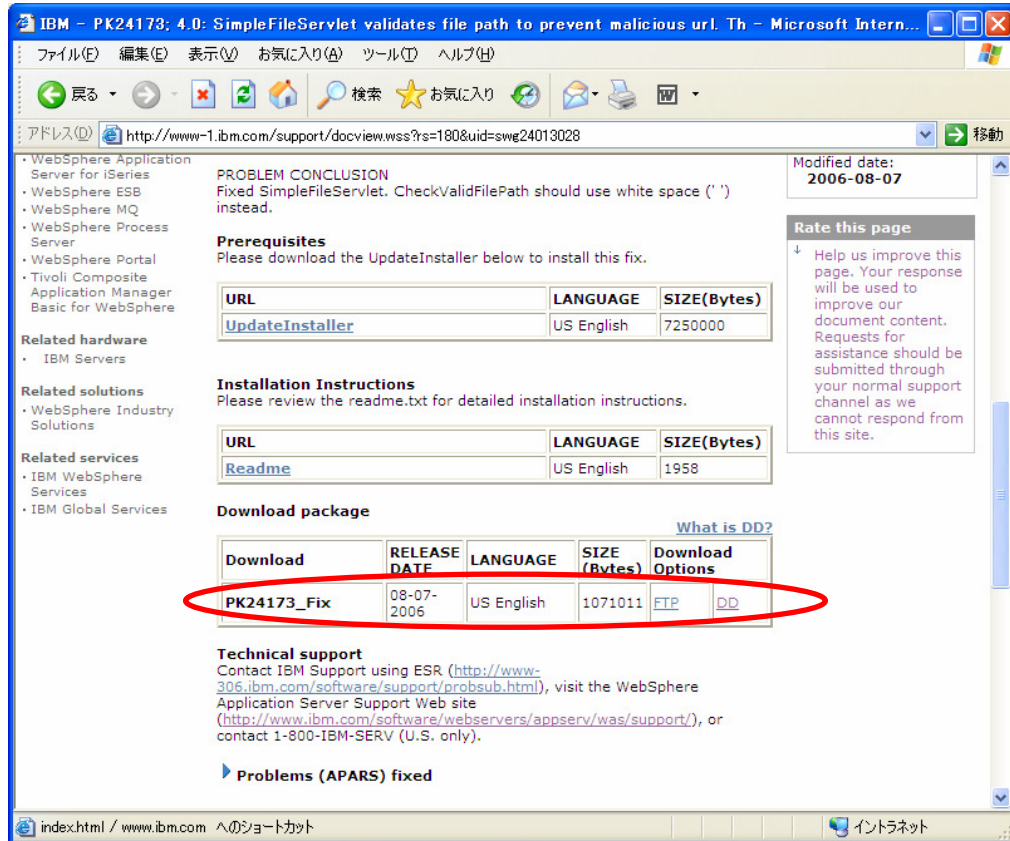
ここでは、PK24173 をダウンロードする手順をご紹介します。

PK24173 は、WebSphere Application Server サポートページの以下の URL からダウンロードできます

<http://www-1.ibm.com/support/docview.wss?rs=180&uid=swg24013028>

該当の Interim Fix のダウンロードサイトの画面で、Download package の Download Options の” FTP”もしくは”DD”をクリックします。

(”FTP”,”DD”のどちらを選択していただいても同じモジュールをダウンロードできます。)

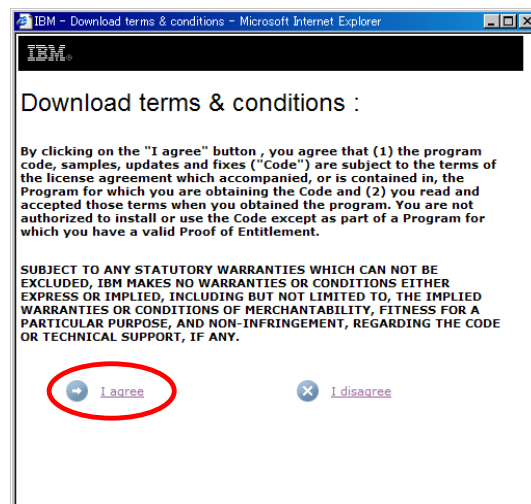


The screenshot shows the IBM support page for PK24173. The page is titled "IBM - PK24173: 4.0: SimpleFileServlet validates file path to prevent malicious url. Th". The main content area includes a "PROBLEM CONCLUSION" section, "Prerequisites", "Installation Instructions", and a "Download package" section. The "Download package" section contains a table with columns for "Download", "RELEASE DATE", "LANGUAGE", "SIZE (Bytes)", and "Download Options". The row for "PK24173_Fix" is circled in red, and the "FTP" and "DD" options are highlighted.

Download	RELEASE DATE	LANGUAGE	SIZE (Bytes)	Download Options
PK24173_Fix	08-07-2006	US English	1071011	FTP DD

2. ライセンスについての説明が表示されます。内容を確認して”I agree”をクリックします。ファイルのダウンロード・ウィンドウが表示されますので、任意のディレクトリーに保存します。

例: Unix: /tmp/WebSphere/fix
Windows: c:\temp\WebSphere\fix



The screenshot shows the "Download terms & conditions" page. The page contains the text "Download terms & conditions :", followed by a paragraph of legal text, and two buttons: "I agree" and "I disagree". The "I agree" button is circled in red.

3. Interim Fix のインストール

●インストールに際し下記の確認事項をご確認のうえ、インストールを行ってください。

1. 導入前にすべての WAS, IHS が停止していることを確認してください。
また、WAS 以外で稼動している java プロセスについても停止する必要があります。
2. AIX 環境では不要なライブラリをアンロードするため、root で slibclean を実行してください。
3. Fix のバージョンによって、適用できる WAS のバージョンおよびプラットフォームが指定されています。
適用の際には、お使いの WAS のバージョンを必ず確認をしてください。

以下は Interim Fix PK24173 の前提条件です。この場合、WAS V4.0 の FixPack5 以降が適用されたシステムに対して、この Interim Fix が適用可能です。

対象バージョン : WAS 4.0.5, 4.0.6, 4.0.7
対象プラットフォーム : AIX, HP-UX, Linux, Solaris, Windows

WAS のバージョン確認方法:

<WAS_ROOT>/properties/com/ibm/websphere/product.xml を表示します。
バージョンおよび Fix Pack レベルは<version>タグに表示されます。

具体的にインストール手順について解説します。

1. コマンドプロンプトを立ち上げます。

以下の一連のコマンドは同じコマンドプロンプトで実行してください。

<WAS_ROOT>%bin%setupCmdLine.bat (または **setupCmdLine.sh**) を実行します。

(注: UNIX 環境におきましては、#. /setupCmdLine.sh を実行します。

カレントディレクトリーにおいて環境変数が有効になるようにコマンドを実行してください)

2. <WAS_ROOT> に Fix ディレクトリーを作成し、以下のコマンドを実行します。

実行コマンド:

(一行で続けて入力します)

java -jar <jar ファイル名> -backupJar <WAS_ROOT>%Fix%<jar ファイル名>_backup.jar

[例]

インストール・ディレクトリー : C:%WebSphere%AppServer

jar ファイル名(フルパス) : C:%temp%WebSphere%fix%PK24173_Fix.jar (PK24173 の場合)

C:%WebSphere%AppServer%Fix%**java -jar C:%temp%WebSphere%fix%PK24173_Fix.jar -backupJar**

C:%WebSphere%AppServer%Fix% **PK24173_Fix_backup.jar**

・各オプションの補足説明

-jar : 実行する jar ファイルを指定する

-backupJar : バックアップファイル名を指定する

詳細につきましては、ダウンロードサイトの Install Instructions にある readme をご参照ください。

3. 以下のメッセージが表示されたら、インストール・ディレクトリーの位置を入力し、「Enter」を押してください。
(例: C:¥WebSphere¥AppServer や /opt/WebSphere/AppServer など)

This tool requires a target directory to which to apply the update information from the update jar file. For example, 'C:¥WebSphere¥AppServer'.

Note that the contents of the target directory will be modified by the execution of this tool.

A target directory was not specified on the command line nor in a property file.

Please provide the name of the target directory.

:

You may enter "exit" to terminate this operation.

[/opt/WebSphere/AppServer](#)

注意

上記手順 2 で作成された バックアップファイル(この例では PK24173_Fix_backup.jar)は、この修正をアンインストールする際に必要となります。削除しないで下さい。

4. インストール後の確認

<WAS_ROOT>¥properties¥com¥ibm¥websphere¥product.xml を開いて確認します。
(product.xml の抜粋を下記に示します)

```
<event>
  <sqlTime>2006/08/05 00:13:34</sqlTime>
  <description>Malicious url may cause raw jsp content sent to client</description>
  <type>Fix</type>
  <containerType>unknown</containerType>
  <installPath>/opt/WebSphere/AppServer/</installPath>

  <unInstallScript>/opt/WebSphere/AppServer/Fix/PK24173_Fix_backup.jar</unInstallScript>
  <activityLog>/opt/WebSphere/AppServer/Fix/PK24173/Extractor.Log</activityLog>
  <startingVersion>4.0.7</startingVersion>
  <endingVersion>4.0.7</endingVersion>
  <source>/opt/WebSphere/AppServer/Fix/PK24173_Fix.jar</source>
  <status>Successful</status>
  <errorMessage>0 errors were noted</errorMessage>
  <apar>PK24173</apar>
  <pmr> n/a</pmr>
  <developer>Sukesh</developer>
</event>
```

適用したAPAR番号(この例ではPK24173)について以下のメッセージがログされていれば正しくインストールされています。

```
<status>Successful</status>
<errorMessage>0 errors were noted</errorMessage>
```

問題がある場合は<WAS_ROOT>¥Fix¥<APAR番号> (例:<WAS_ROOT>¥Fix¥PK27134)にある Extractor.log ファイルを確認してください。

5. Interim Fix のアンインストール

一度適用した Interim fix は、以下の手順でアンインストールすることができます。

1. コマンドプロンプトを立ち上げます。

以下の一連のコマンドは同じコマンドプロンプトで実行してください。

<WAS_ROOT>%bin%setupCmdLine.bat (または **setupCmdLine.sh**) を実行します。
(注: UNIX 環境におきましては、#. /setupCmdLine.sh を実行します。
カレントディレクトリーにおいて環境変数が有効になるようにコマンドを実行してください)

2. <WAS_ROOT> に Fix ディレクトリーに移動し、以下のコマンドを実行します。

実行コマンド:
(一行で続けて入力します)

java -jar <backup した jar ファイル名>

[例]

インストール・ディレクトリー : C:%WebSphere%AppServer

backup した jar ファイル名(フルパス) : C:%WebSphere%AppServer%Fix%PK24173_Fix_backup.jar

C:%WebSphere%AppServer%Fix>**java -jar C:%WebSphere%AppServer%Fix%PK24173_Fix_backup.jar**

・各オプションの補足説明

-jar :バックアップファイル名を指定する

詳細につきましては、ダウンロードサイトの Install Instructions にある readme をご参照ください。

6. アンインストール後の確認

<WAS_ROOT>%properties%com%ibm%websphere%product.xml を開いて確認します。
(product.xml の抜粋を下記に示します)

```
<event>
  <sqlTime>2006/08/06 17:44:35</sqlTime>
  <description>Malicious url may cause raw jsp content sent to client</description>
  <type>BackOut</type>
  <containerType>unknown</containerType>
  <installPath>/opt/WebSphere/AppServer/</installPath>
  <unInstallScript/>
  <activityLog>/opt/WebSphere/AppServer/Fix/PK24173/Extractor.Log</activityLog>
  <startingVersion>4.0.7</startingVersion>
  <endingVersion>4.0.7</endingVersion>
  <source>/opt/WebSphere/AppServer40/Fix/PK24173_Fix_backup.jar</source>
  <status>Successful</status>
  <errorMessage>0 errors were noted</errorMessage>
  <apar>PK24173</apar>
  <pmr> n/a</pmr>
  <developer>Sukesh</developer>
</event>
```

適用した APAR 番号(この例では PK24173)について以下のメッセージがログされていれば正しくアンインストールされています。

```
<status>Successful</status>
<errorMessage>0 errors were noted</errorMessage>
```

問題がある場合は<WAS_ROOT>%Fix%<APAR番号> (例:<WAS_ROOT>%Fix%PK27134)にある Extractor.log ファイルを確認してください。